

～目視検査を科学で改善～

【目視検査の理論をマスター：これさえマスターすれば、目視検査はうまくいく！】

目視検査訓練法の習得 ◎セミナー&工場診断付き

「目視検査」は、製品の品質を支える重要な工程です。しかし目視検査の現場では、「目視検査のやり方がわからない」、「疲れるので集中力が続かない」、「ちゃんと見ているのに検出率があがらない」など様々な問題や課題があります。

実は、目視検査には、正しい理論と方法があるのですが、意外と知られていません。デジタル技術を駆使し、熟練者の検査方法を科学的に分析（目と脳の動きを分析）することで、新人でも熟練者と同じように目視検査が行えるようになります。目視検査を専門とする経験豊富な講師が、正しい目視検査の理論を詳しく解説し、視線計測機器などのデジタル機器を用いて、貴社の目視検査工程を診断します。

前半のセミナーでは、「カンやコツ」に頼る目視検査から脱却し、「疲労が少なく、見逃しがなく、生産性が高い検査方法」を習得することができます。また熟練検査員になるための訓練方法も習得することができます。さらに、先端企業で行っている目視検査の見える化・データ化による成功事例もご紹介します。

後半の工場診断では、アイトラッキングなどを用いて、貴社の工程を分析。「どのように、検査員が目視検査をしているのか」「熟練検査員と新人検査員とでは、どのように検査方法が違っているのか」「検査員間のばらつきや生産性や見逃しの課題について、どこに原因があって、どのような改善をすればよいのか」診断を行います。

第1部 目視検査の理論

1. 「検出」と「判定」のメカニズム
2. 検出内容が変わる周辺視と中心視
3. 熟練者に必要な2つの技能
 - (1) 有効視野の特徴と目視検査での効果
 - (2) 探索方略の特徴と目視検査での効果
4. ばらつきをなくす目視検査の作業標準書の書き方

第2部 一般検査員を熟練者にする訓練法 (1)

1. 熟練検査員のノウハウを使った訓練法
2. 集中力アップ・疲労を軽減させる検査設備と管理

第3部 見える化・数値化による一般検査員を熟練者にする訓練法 (2)

1. 目視検査の見える化・数値化の方法
 - (1) 有効視野の測定法と訓練法
 - (2) 探索方略の測定法と訓練法
2. 見える化・数値化による訓練法

第4部 (先進企業改善例) 見える化・数値化による目視検査の変革事例

1. 目視検査の改善の変遷
2. 見える化・数値化による目視検査の変革事例

【貴社の目視検査工程を見える化！課題や原因・改善案を提案します】

1. 視線を見える化する計測装置などのデジタル機器を用いた熟練検査員と新人検査員の分析
2. 検査員の疲労軽減に重要な検査室や検査光源の適正さをデジタル機器で分析
3. 他社での裕福な経験を踏まえ、**検査員間のばらつきや生産性や見逃しの原因と改善案**を提案

担当講師 **コンサルタント 篠田正行氏**



・中小企業診断士
・目視検査科学化推進センター代表
・中小企業庁・製造系アドバイザー
大手製造会社にてIE導入し、2018年にIE文献賞を受賞。その後、コンサルタントとして独立。多くの企業で目視検査の改善を実践している。

28万円 (税込)
+ 講師交通費

詳細をご説明いたします。お問合せください。折り返しご連絡いたします

お問合せ書ご記入のうえメール (info@jsm-c.jp)、またはお問い合わせフォームにご記入ください

貴社名	事業所名	申し込み日	念のためご記入ください () / () 送信しました
ご住所	〒	TEL () FAX ()	
ご担当	所属/役職	お名前 (ふりがな)	E-MAIL

ジャパンセールスマネージメント株式会社 営業担当 河野哲也 070-4072-3903
233-0016 神奈川県横浜市港南区下永谷3-48-11

[お問い合わせフォーム](#) →

